

こどもの安全を守るために

昨今の痴漢行為や連れ去り犯罪はどんどん変わってきており、今までの常識や決まり文句では子供を守れない時代になってきています。防犯パトロールを行うこの機会に、お子さんと安全意識について話しあってみてください。

◆決まり文句その1 「知らない人についていかない」ですが…

子供の『知っている人』は大人が考える以上にあいまいです。
近所のひと、一度見たことのある人は子供にとって全員『知っている人』なんです。

こう言って
みよう!

「**知っている人でも おうちの人以外についていかない**」

◆決まり文句その2 「気を付けて」ですが…

何に気を付けるのか 子供にはもっと具体的に言うことが肝心。

こう言って
みよう!

「**一人で歩かない**」

「**ふざけて道を歩かない**」

「**周りの様子を時々確認しなさい**」



◆決まり文句その3 「危ない人に近づかない」「あやしい人とは話さない」ですが…

これもよく使いますがむしろ逆。
犯罪者はできるだけ優しくな顔で近づいてきます。

こう言って
みよう!

「**ひとりの時や 暗い道で声をかけてくる人は、優しく**な人や

女の人でも 怪しい人だから、ぜったい近づかない」

◆決まり文句その4 「何かあったら大きな声をだしなさい」ですが…

なにかあったときとっさに出る言葉 No1 は「わー!」だそうです。これではふざけているだけとしか周囲にとらえられず、犯罪に気づいてもらえません。また、せっかく持っている防犯ブザー、いざというとき使えるかご家庭で確認をお願いします。

こう言って
みよう!

「**連れていかれそうになったら大声で、「助けて！」と叫び**

周りの人に気が付いてもらえるように手を振りなさい」